

歴 代 か わ ら 版 解 説
1 9 9 4 年 9 月 号

[illegible]

作は、このころから、
 ミスターA.J.の先達達が多く、
 理事長を兼ねた「経営者」リダの道だ。一
 場の勉強は一時間ばかりのも
 の。」「頼まれたら断わらない。」「三分間まち」現約
 A.J.の精神にのみ、等々、
 A.J.精神にのみ、等々を通
 り、試行錯誤しながら、自分
 を向上させようとして参り
 ました。(完全燃焼版)「
 春季セミナーにおいて、毎
 度A.J.について」「人生につ
 て夜通し朝まで、語ること
 思ひ出。家族の準備で、手
 作りの機、食器、そのめん流
 しの機、食器、その他、他
 を切り出して、必ず、他製し
 報室くじらに祭り報告

「広報室では今年も例年ど
うり、コナ担当です。何カ
月も前から準備し、連日連夜お
そくまで作業をしたかいい
つて、大変でした却又、楽し
いコナがばらしたと思います
又四十度近い猛暑の中ほとん
ど、休まずガンバツてくれた室
員の皆様、無理失礼お手伝いさ
された奥様方、又、御協力さ
せて下さったメンバーの方々大
変、ありがとうございました。」



- 2 -

[illegible]

— 7 —

くれば、今（この）十七年間に何
う、何千の人心達と交わった
し、何千の心と交わった、関わり
が得たことに、人生の宝物が
出来た。心から感謝して「おま
す」。

スローガンとして、「和」人・人
づくり、人づくりと掲げ、二
十八代理事の大役を務めた三
十年がりに、山梨県会と全十
三年がりに、石和の地にて、今
例えが、不行、同世とし、

の熱意が通じて、昭和の国を
の発展、多くの国を
「ご協力」の意を戴き、勇気を
持て、今までにないスキルで
、昭和風に文化の花を咲かせ
てが出来ました。このことは、
早くから、目録設定を行なった
賜物、會員一人一人が、真摯
に作り組んだためであり、本気の
精神が多くの人々の心を動かし
たのだと信じています。

出来！と動くこと、何でも
「出来！」と言った瞬間を、現



「おま
す」。

くれば、今（この）十七年間に何
う、何千の人心達と交わった
し、何千の心と交わった、関わり
が得たことに、人生の宝物が
出来た。心から感謝して「おま
す」。

スローガンとして、「和」人・人
づくり、人づくりと掲げ、二
十八代理事の大役を務めた三
十年がりに、山梨県会と全十
三年がりに、石和の地にて、今
例えが、不行、同世とし、

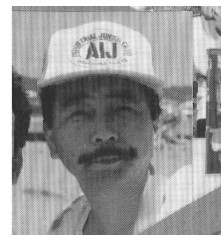
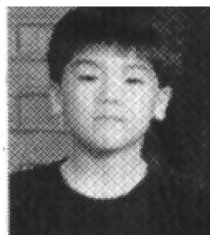
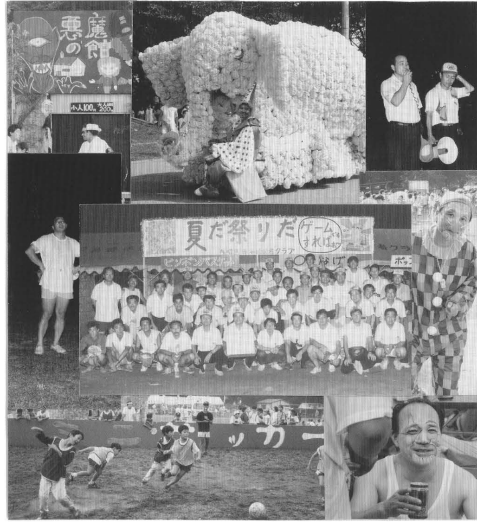
の熱意が通じて、昭和の国を
の発展、多くの国を
「ご協力」の意を戴き、勇気を
持て、今までにないスキルで
、昭和風に文化の花を咲かせ
てが出来ました。このことは、
早くから、目録設定を行なった
賜物、會員一人一人が、真摯
に取り組み込めたため、本気の
精神が多くの人々の心を動か
したのでと信じています。

出来！と動くこと、何でも
「出来！」と言った瞬間、我々



「おま
す」。

— 4 —



1994年当時の長瀬会員・阿部先輩・長瀬先輩

過去のかわら版記事を読んで
理事長 笹川 義昭

A I J と言えぱくじら祭。
当時のかわら版は「祭り」と送り仮名がついています。この機微が伝わるでしょうか(笑)。

この時代のハレードに使われていたくじら号は三十一代理事長の有田先輩の倉庫で作られていたと、今年の六月にお話を聞かせて頂きました。ご子息の雄祐さんもくじら号の製作は子供の頃の記憶として残っているそうです。雄祐さんと仲良くなれたのでA I Jに勧誘してみました。丁寧で辞退されてしまいました(笑)。

その有田先輩の得意なスポーツはサッカー。そしてくじら祭で会員開発部会がミニサッカーを担当。当時の部長は阿部先輩。そう、毎年のスローガンを書いて頂いている先輩です。

その阿部先輩は、家族会の会場の三浦海岸で、海水を引き込んで簡易トイレを作った思い出があり、そのトイレ製作の担当は清水会員のお父様でした。

かわら版を読み解いていくと、繋がりを見ることができますね。

過去かわら版記事を読んで
直前理事長 長瀬 雄一郎

過去かわら版記事の中に特別会員の長瀬先輩の記事があった。私の父です。

読み進めていくと例会作りへの熱量の高さを強く感じる。私は相手に見えないところでも、どれだけ熱を生み出せているだろうか。

父は今でも、シリシリと相手が焼けてしまうのではないかと
 と思うほど熱い人で、人前に立つことを得意としています
 が、入会当初は震えていたとのこと。きっと、当会で揉ま
 れる中で磨かれ身に付け、内にあるものが開花したのであ
 るうと思う。そのためには、多くの諸先輩方の築いてこら
 れた歴史と経験が必要不可欠であったことは、A I J 語録
 に刻まれ受け継がれてきた志に見て取れる。会員は自身の
 為に入会していると思うが、人は一人ではなく、周囲が
 あってこそである。自身の為を超えて後輩の為に先人への
 感謝を込めて尽力すべきだろう。

因みに父を入会に導いた十三代理事長の大堀先輩は、弊社
 の創業初期頃に勤められていた深い関わりのある人物です。